

自己評価票

- 自己評価は全部で100項目あります。
- これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。
- 項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目（例えば、下記項目のⅡやⅢ等）から始めて下さい。
- 自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。
- 自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
V. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

○記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に○をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で○をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

○用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

○評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(No.1からNo.87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(No.88からNo.100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	株式会社 ドリエジヨ ゆめさとグループホーム
(ユニット名)	あじさい
所在地 (県・市町村名)	滋賀県蒲生郡日野町西大路字井上434-2
記入者名 (管理者)	雲林院 江津子
記入日	平成 20年 7月 14日

自己評価項目	外部評価項目	項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I 理念に基づく運営					
I-1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> ①地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	地域性や個々それぞれの生活を重要と考えた理念をつくりあげている。		
2	2	<input type="checkbox"/> ②理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念にあがっていることを中心に考え入居者様や家族の日々の生活を大切にしている。		
3		<input type="checkbox"/> ③家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	入居者様が馴染みのある地域の中で安心して暮らしていけるよう、家族様へは入居時に説明したり運営推進委員会などで地域の方々に知って頂けるよう取り組んでいる。	○	理念の重要性を家族や少しでも多くの地域の方々に知って頂くよう呼びかけて行く。
理念と共有 3項目中 2項目					
I-2. 地域との支え合い					
4		<input checked="" type="checkbox"/> ①隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りしてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	近隣の方々と出会うと気軽に挨拶し合える関係であるが訪問しに來られたりすることは少ない。	○	近隣の方々と気軽に交流をもてるような場づくりを考えていきたい。
5	3	<input type="checkbox"/> ②地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	地域の行事には出来るだけ積極的に参加し交流を保っており、毎年の恒例行事には必ずお誘いが来る関係にある。	○	認知症を少しでも理解して頂き、安心して交流ができる関係づくりをしていこうと考えている。
6		<input type="checkbox"/> ③事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	同じ地域に住んでおられる職員から地域性のことなどを聞き、新しい情報を取り入れている。	○	地域の高齢者に向けて、公民館などで講演を行い気軽に相談など聞き入れられるような体制にしておく。
地域とのつきあい 3項目中 2項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I-3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	<input checked="" type="checkbox"/> ①評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価を各自で行うことで理解はしているが、項目が多い為細かな部分までは理解できていない。	○	評価を再確認し、今後取り組んでいかなければならない内容を話し合っていく。
8	5	<input type="checkbox"/> ②運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	三ヶ月に一回運営推進委員会を行い、グループホームでの取り組みについて報告し、評価から地域につながるサービス向上に向けて話合っている。	○	運営推進会議でまとまった内容を今後サービスに活かしていく。
9	6	<input type="checkbox"/> ③市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	機会をつくり、グループホームの現在の状況などの把握をして頂くようにしている。	○	今後も市町村や運営推進会との細かな連携体制を作っていく。
10		<input type="checkbox"/> ④権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	制度への理解など、事業所内のケアマネなどから学び、それに応じて支援していく。	○	事業所内のケアマネから学ぶ機会を出来るだけ持ち、制度に対する話や、グループホームのアドバイスを頂く。
11		<input type="checkbox"/> ⑤虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	虐待について考え理解し防止に努めている。		
理念を実践するための制度の理解と活用 5項目中 4項目					
I-4. 理念を実践するための体制					
12		<input type="checkbox"/> ①契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	説明時には、十分な話し合いが出来る時間などを設け、家族様の思いなどを聞き、納得していただき同意、契約している。		
13		<input type="checkbox"/> ②運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	入居者様の思いを出しやすい環境や人間関係づくりが大切である。	○	常に入居者様へ耳を傾け意見や苦情があれば、速やかに対応し、改善の経過や結果を外部者へ伝えていきたい。
14	7	<input type="checkbox"/> ③家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	毎月1回、一人一人の入居者様の家族様にグループホームでの様子や健康状態を手紙で報告し、現金出納用紙を同封し送っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
15	8	<input type="checkbox"/> ④運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族様との関係を大切にし意見や思っておられることを丁寧に聞き入れる。	○	家族会を設け、家族同士の集まりの場で意見を出しやすくするような環境をつくる。苦情への対応を話し合い、質の向上を目指す。
16		<input type="checkbox"/> ⑤運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月一回のミーティングで職員の意見や提案を出せる場を設け出来るだけ反映している。		
17		<input type="checkbox"/> ⑥柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	月一回のミーティングで職員の意見や提案を出せる場を設け出来るだけ反映している。		
18	9	<input type="checkbox"/> ⑦職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の移動は十分考え、職員の能力に応じたユニットごとに固定し、顔馴染みの職員によるケアを心掛けている。		
理念を実践するための体制 7項目中 7項目					
I-5. 人材の育成と支援					
19	10	<input type="checkbox"/> ①職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	立場に応じた研修に参加し、ここで反映していけるよう施設内での勉強会などを実施し全職員が理解できるように取り組んでいる。		
20	11	<input type="checkbox"/> ②同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム部会や運営推進会議などを設立し、外部の同業者や地域の方々と交流し、情報交換することで質を向上させている。		
21		<input type="checkbox"/> ③職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	職員の思いに聞く耳をもち、仕事以外の場で気軽になんでも話し合える機会づくりを大切にしている。	○	他のグループホームや事業所と交流の場を持ち同じ職業でのことを共感し合える場を設けていきたい。
22		<input type="checkbox"/> ④向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	職員一人ひとりにしっかり現場での思いや意見を聞きだし、少しでも反映し向上心をもって働いて頂くようにしている。		
人材の育成と支援 4項目中 4項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
Ⅱ-1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		<input type="checkbox"/> ①初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面談で生活状況を把握し、本人の不安や思いを聞き入れ、本人に受け入れてもらえるような関係作りができるように努めている。		
24		<input type="checkbox"/> ②初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	管理者が家族様の不安に思っていることなどを聞きだせるように努め、じっくり話せる場を設けるように努めている。		
25		<input type="checkbox"/> ③初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	家族の方に現在の状況をじっくり聞き何が必要かを把握し、出来る限りの対応に努めている。	○	専門医への受診や福祉用具の利用、本人に応じた他の事業所への転居のための対応を充実させていきたい。
26	12	<input type="checkbox"/> ④馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	利用する前の本人の情報収集をしっかり行い、出来るだけ馴染めるような環境を作っておくようにしている。	○	部屋の空き具合にもよるが、短期間のショートでの利用などを通し、場の雰囲気を感じて頂ける機会を増やす努力をしている。
相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応 4項目中 4項目					
Ⅱ-2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	<input type="checkbox"/> ①本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	日々のかかわりから学ぶことも多くお互いが協力し支え合いながら生活している。	○	入居者様の方とゆっくり過ごし関係を高められる時間を作れるよう業務体制を作りなおしていきたい。
28		<input type="checkbox"/> ②本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	家族の思いを聞き入れながら、日々のケアなどを一緒に考え協力して頂いている。		
29		<input type="checkbox"/> ③本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時に家族の思いや今までの本人との関係などを聞き入れ理解し関係を保てるように心掛けている。	○	本人と家族、お互いの思いが結びつくような働きかけを行っていきたい。

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
30		<input type="checkbox"/> ④馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	今まで生活されていた馴染みの方々に出会える地域の交流の場に出かけて行く。今までの宗教についての関係の継続。	○	今までに馴染みのあった人達が気軽に訪れることができる場になるように取り組んでいきたい。
31		<input type="checkbox"/> ⑤利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	気の合う、合わない人を把握し、気の合う方同士で居心地の良い空間を提供できるようにしている。	○	入居者様の関係に応じてのユニット移動や個別ケアや作業レクなどから自然に関わりが生まれてくるよう、ケアを提供していく。
32		<input type="checkbox"/> ⑥関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	町で出会ったり、施設へ尋ねてこられる際は、快く対応している。		
新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援 6項目中 項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
Ⅲ-1. 一人ひとりの把握					
33	14	<input type="checkbox"/> ①思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	自分の思いを伝えることが出来る方と意思疎通が難しい方がおられるが、常に本人の気持ちになって考えるようにしている。	○	本人の気持ちや家族の希望などを聞き入れるよう努力していく。
34		<input type="checkbox"/> ②これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居される前の面接時に今までの暮らしに関わる情報を得るようにしている。		
35		<input type="checkbox"/> ③暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	介護記録・業務日誌・ケース記録などに記入し、全体的に把握できるように努めている。		
一人ひとりの把握 3項目中 3項目					
Ⅲ-2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
36	15	<input type="checkbox"/> ①チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族からの意見や関わっているスタッフ同士の話し合いをふまえた上で計画を作成している。		
37	16	<input type="checkbox"/> ②現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	入居者様の変化に応じての介護計画の見直しが出来ていないことがある。	○	現状や変化に生じての介護計画の検討・見直しを行っていく。
38		<input type="checkbox"/> ③個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人の日常生活状況などが記入してあるケース記録などから本人の情報を共有し、介護計画を見直している。		
介護計画の作成と見直し 3項目中 2項目					
Ⅲ-3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	<input type="checkbox"/> ①事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	デイと併設していることにより柔軟な活用の支援ができる。		
多機能性を活かした柔軟な支援 1項目中 1項目					

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
		Ⅲ-4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40		<input type="checkbox"/> ①地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	ボランティア活動の受け入れ、消防・救急訓練や近くの小学校との交流をはかっている。		
41		<input type="checkbox"/> ②他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	その時々の入居者様の状況に応じてあう場所を最優先に考え支援する。	○	他の事業所などと連携を図っていけるようにしっかりとした関係を作ってい+192く。
42		<input type="checkbox"/> ③地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	定期的に入居者様の状況報告し、必要に応じて意見をもとめるようしている。		
43	18	<input type="checkbox"/> ④かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	毎月一回医師の往診があり、随時医療面での指示を仰ぎ相談にのってもらっている。		
44		<input type="checkbox"/> ⑤認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	認知症の受診が必要な方に関しては、家族様に相談し、要望を聞きながら専門医への受診・状況報告により治療を受けられるように支援し、本人様が安定した生活を送っていただけるように受診時以外でも必要に応じ、医師との連絡を取っている。		
45		<input type="checkbox"/> ⑥看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	グループホームに看護師を配置し、デイの看護師とも協力・相談しながら日常生活の中での健康管理に努めている。また、受診時看護師が病院へ付き添いをする事により、医療面での管理を行っている。		
46		<input type="checkbox"/> ⑦早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入居者様が入院された場合、職員がお見舞いに行き家族様・病院関係者から、様子を聞き状況把握・情報交換を行っている。		
47	19	<input type="checkbox"/> ⑧重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居時に、重度化された場合の対応等についての説明を行っている。また、本人様の状況報告等家族様と話し合う機会を設け、本人様の状況・希望を考慮し最善を尽している。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
48		<input type="checkbox"/> ⑨重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	事業所内で対応できること・できないことの見極めを行い、本人様の状況を伝え家族様の要望を聞き今後の支援の方向性を検討している。また、必要に応じ医師との連絡調整を行い、医師・看護師の意見も聞きながら取り組んでいる。		
49		<input type="checkbox"/> ⑩住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	本人様が入居される際、または退去される際は出来る限り情報交換を行い、話し合う機会をもち住み替えによるダメージを軽減できるように努めている。		
地域資源との協働 10項目中 10項目					


自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
IV-1. その人らしい暮らしの支援					
IV-1. (1) 一人ひとりの尊重					
50	20	<input type="checkbox"/> ①プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーに配慮した言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしている	個々の記録・情報については、他者の目に付かないところに置くように配慮している。日々の義務の中での連絡事項や申し送りなどは本人や他者にわからないように申し送るようにしている。		
51		<input type="checkbox"/> ②利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	業務体制の改善を行い、入居者様の方と関わりをもてる時間を作ることができ本人の思いや考えをゆっくり聞いたり説明したりできるようになった。		
52	21	<input type="checkbox"/> ③日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々それぞれの毎日の生活のペースに合わせて、いろんなことを提供しつつ職員の日常業務をこなしている。		
その人らしい暮らしの支援 (1)一人ひとりの尊重 3項目中 3項目					
IV-1. (2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		<input type="checkbox"/> ①身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	定期的に散髪屋さんが施設に來られたり、行きつけの美容院などを利用されている。服装なども以前から好まれている物を着て頂いている		
54	22	<input type="checkbox"/> ②食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者様と一緒に食事の下準備を行うことで、その出来上がった物を食べる楽しみや味を分かち合える。食後の片付けなどもそれぞれの入居者の方々が協力し合って行っている。		
55		<input type="checkbox"/> ③本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	身体面での食事制限や減量が必要な方もおられ難しい部分もあるが、その中での楽しみを得てもらえるように心掛けている。		
56		<input type="checkbox"/> ④気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	排泄チェック表の記入を元に個々の排泄状況間隔を理解し、それぞれに応じた排泄介助を行っている。		
57	23	<input type="checkbox"/> ⑤入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	本人の意思や希望に合わせて、それぞれのペースでゆっくり入浴して頂いている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
58		<input type="checkbox"/> ⑥安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	基本的には就寝時間を決めておらず、本人様の好きな時間に休んで頂いていますが、認知症症状から落ち着いて眠れない方もおられ医師と相談しながら対応している。		
その人らしい暮らしの支援 (2)基本的な生活の支援 6項目中 5項目					
IV-1. (3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	<input type="checkbox"/> ①役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	以前の生活歴から個々に出来そうな役割を促し、出来ることによりやりがいや喜びなどを日々感じて頂けるよう支援している。		
60		<input type="checkbox"/> ②お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	金銭管理が出来る入居者様がほとんどおられないが、少しの手持ちのお金をいづらか持っておられる方など数人おられる。		
61	25	<input type="checkbox"/> ③日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	その日の突発的な本人の希望される場所への外出は難しいが家族の協力も得ながら、部分的に外出を行っている。また、本人の希望を聞きつつ、外出先を検討している。		
62		<input type="checkbox"/> ④普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	同上		
63		<input type="checkbox"/> ⑤電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	入居者様の状態により、困難になっている部分もある。また、季節毎に声かけを行っているが、自ら望まれる方は少ない。遠方の家族様より、本人様に電話等かかってくることも年に数回ある。	○	今後、入居者様の状態により可能な方には提供・支援を行っていく。また、そのほかの方に関しても家族様側から手紙等頂けるような関係づくりを行っていきたい。
64		<input type="checkbox"/> ⑥家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	家族様・知人の方等が面会に来られた際は、居室・食堂・居間等で思い思いに過ごしていただいている。家族様により定期的に面会に来てくださる方も増えてきている。		
その人らしい暮らしの支援 (3)社会的な生活の支援 6項目中 6項目					
IV-1. (4) 安心と安全を支える支援					
65		<input type="checkbox"/> ①身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束について、スタッフが理解できるように説明の場を設けた。また、外部の研修への参加の場を設け取り組みを行った。現在、拘束は行っていないが、言葉かけ等注意する必要がある、今後も気をつけていきたい。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66	26	<input type="checkbox"/> ②鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	基本的には、鍵はかけないようにという考えではあるが、現在入居されている方の状況により、鍵をかけざるを得ない状況にもある。日中は、敷地内に自由に動いてもらえるスペースを設けている。	○	日中敷地内に、自由に動けるスペースを設けているが、今後も入居者様の状況に応じ、対応方法を検討していきたい。
67		<input type="checkbox"/> ③利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	スタッフ間での声かけ、ユニット間での声かけを行っている。入居者様の状況により、プライバシーの配慮ができない事もあるが、基本的にはプライバシーの配慮を行いつつ、日々の状態把握に努めている。		
68		<input type="checkbox"/> ④注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	個々の入居者様の状態に応じ対応を行っている。		
69		<input type="checkbox"/> ⑤事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	事故報告・ミーティングなどで、個々の状態を把握し防止の方法を検討している。交代勤務であるため、勉強会等の開催が難しい部分もあり、資料等を作成し、目を通せるようにしている。		
70		<input type="checkbox"/> ⑥急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	年に一度の部分的な訓練を行っている。(救命士による心肺蘇生方法等)また、休日・夜間帯等看護師と連絡を取れる体制を整え、緊急時の指示が仰げるようにしている。		
71	27	<input type="checkbox"/> ⑦災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	避難訓練(日中・夜間想定)の実施。消火器具の取り扱いについて等行っているが、実際の場になると動揺が見られる可能性はある。	○	現状、具体的な地域の方との連携体制は取れていないため、今後の課題としていきたい。また、定期的に避難訓練を行い、避難動作の再確認を行っていく。
72		<input type="checkbox"/> ⑧リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時、または訪問時等家族様と話し合う機会を設け、現状で起こりうるリスクの説明を行い、本人様・家族様の要望・希望に沿った形で出来る範囲の対応を考慮・実施している。		
その人らしい暮らしの支援 (4)安心と安全を支える支援 8項目中 6項目					
IV-1. (5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		<input type="checkbox"/> ①体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	入居者様の身体的状況などをよく観察し変化等の早期発見に努め、状態情報を記録し速やかに看護師、専属の医師に相談し、早期対応に努めている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
74		<input type="checkbox"/> ②服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬内容のファイルを作成し、処方内容を受診ごとに新しい者に差し替え、職員が内容を把握できるようにしている。		
75		<input type="checkbox"/> ③便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	食事メニュー等にも気を配り、乳製品の取り入れ体を動かすことの提供もほぼ毎日行なっている。		
76		<input type="checkbox"/> ④口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	口腔ケア・義歯の洗浄は朝晩行うよう促し介助している。また義歯を使用されている方は毎週一回、入れ歯洗浄剤につけている。		
77	28	<input type="checkbox"/> ⑤栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一部、栄養士が作成したメニューの活用を行なっている。また個々それぞれの身体的な状況に応じた食事提供を行なっている。		
78		<input type="checkbox"/> ⑥感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染マニュアルの作成・看護師による感染予防等他の職種を交え予防に取り組んでいる。	○	感染の流行や季節によって発生しやすい物に対し早期に予防に努める。感染に対する対策など徹底していく。
79		<input type="checkbox"/> ⑦食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	キッチンの清掃と調理器具の消毒をし、衛生管理を毎日の業務としている。食材は新鮮なうちに調理している。		
その人らしい暮らしの支援 (5)健康面の支援 7項目中 7項目					
IV-2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
IV-2. (1) 居心地のよい環境づくり					
80		<input type="checkbox"/> ①安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	帰宅願望が強い方もおられ、外部の方の訪問時は基本的にデイサービスの玄関を利用して頂いている。グループホーム側の玄関は入居者が自由で安全に外へ出て頂けるスペースとして利用している。		
81	29	<input type="checkbox"/> ②居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間には、外を眺められる大きな窓があり季節を感じ取れる。また四季折々の花や飾りを飾っている。		

自己評価項目	外部評価項目	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印(取り組んでいきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
82		<input type="checkbox"/> ③共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ソファや椅子を置き共有できる場を作ったり、気の合った入居者様同士、近い席に座っていただいている。		
83	30	<input type="checkbox"/> ④居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使っておられた馴染みのある物を持ち込んで頂き、本人が少しでも安心して過ごして行けるよう配慮している。	○	本人が少しでも居心地が良く過ごしていただけるように、入居時などに馴染みのある物を持って来て頂く様に説明する。
84		<input type="checkbox"/> ⑤換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	毎朝、起床後に換気を行い。その日の天候や気温等、個々それぞれの快適な温度調節を行っている。		
生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり 5項目中 4項目					
IV-2. (2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		<input type="checkbox"/> ①身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	個々の入居者様の状態に応じ、居室内で安全に過ごして頂けるよう努力している。		
86		<input type="checkbox"/> ②わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	出来ることをして頂き、出来たことに自信をもてるよう支援し、出来ないことは自然に配慮している。	○	さまざまな精神状況から混乱が起きることがあるので、その原因をつかみ対応をミーティングなどで考えていく。
87		<input type="checkbox"/> ③建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	食堂から外に出られるテラスの空間があり、季節ごとのお花を植えたプランターがあり、外周りにはベンチが置いてあり日向ぼっこをしている。		
生活環境づくり (2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり 3項目中 3項目					

( 部分は外部評価との共通評価項目です)

V. サービスの成果に関する項目		取り組みの成果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
項目		↓○印欄
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の2/3くらい ③利用者の1/3くらい ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の2/3くらいと ③家族の1/3くらいと ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の左横に○印をつけること)
		↓○印欄
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くいない
98	職員は、生き活きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の2/3くらいが ③職員の1/3くらいが ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の2/3くらいが ③利用者の1/3くらいが ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族等が ②家族等の2/3くらいが ③家族等の1/3くらいが ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

入居者様が暮らしやすい環境のもと個々に合った生活を実現できるように職員は多様な生活環境作りとして、各分野での担当制を設け、本人らしい生活を提供していくように考えています。現状ではグループホームの入居者の方の認知度、医療面等で重度化がすすんできている傾向があります。今後、重度化させない取り組みを行なっていくため、職員の対応や環境面での質を向上する必要があり教育方法などを考えています。

また看護師を配置し職員で対応できない医療面の充実を図っています。職員も医療的な面での知識を看護師よりアドバイスをして頂き、職員も戸惑いなく医療面での緊急対応ができるように看護師と24時間連携体制を整えています。入居者様に日々、安心して楽しく過ごして頂くため、地域との交流を大切にしていくためにも地域の行事等になるべく参加させて頂き、また近隣小学校の子供達とのふれあいも定期的に行っております。

ゆとりのある個々にあった生活環境を今後も実現して行きたいと思っております。

評価結果整理表

個 別 表	□のチェック項目数
I 理念に基づく運営	
－1. <input type="checkbox"/> 理念と共有	0 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 地域との支え合い	1 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための制度の理解と活用	1 項目/5項目
－4. <input type="checkbox"/> 理念を実践するための体制	0 項目/7項目
－5. <input type="checkbox"/> 人材の育成と支援	0 項目/4項目
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	
－1. <input type="checkbox"/> 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	0 項目/4項目
－2. <input type="checkbox"/> 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	0 項目/6項目
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	
－1. <input type="checkbox"/> 一人ひとりの把握	0 項目/3項目
－2. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	0 項目/3項目
－3. <input type="checkbox"/> 多機能性を活かした柔軟な支援	0 項目/1項目
－4. <input type="checkbox"/> 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	0 項目/10項目
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	
IV－1. その人らしい暮らしの支援	
－1. (1) <input type="checkbox"/> 一人ひとりの尊重	0 項目/3項目
－1. (2) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (3) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援	0 項目/6項目
－1. (4) <input type="checkbox"/> 安心と安全を支える支援	0 項目/8項目
－1. (5) <input type="checkbox"/> その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援	0 項目/7項目
IV－2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	
－2. (1) <input type="checkbox"/> 居心地のよい環境づくり	0 項目/5項目
－2. (2) <input type="checkbox"/> 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり	0 項目/3項目

総合評価

I 理念に基づく運営（ 項目／5項目）について

地域密着型ゆめさとグループホームとしての理念を作り上げており、理念に従って管理者や職員は日々の業務に勤めている。地域性については、運営推進会議を三ヶ月に一回行なうことから同じ地域に住んでおられる方との交流の架け橋になって頂いています。また同じ地域に高齢者の方が多いので地区の公民館などで講演を行い気軽に相談などを聞き入れており、今後こういった機会を増やして行き、地域の方々や家族さんにグループホームのことや認知症のことについて理解して頂けるよう呼びかけていきたいです。

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援（ 項目／2項目）について

入居される前に生活相談員がしっかりとその方の情報収集を行い、相談から利用至るまで困ることのないよう家族様や本人様と念入りに話をし、入居して頂くにあたって出来るだけ馴染んで頂けるような環境を作っておくようにしている。
入居後も家族やこれまで大切にしてきた方々との関係を大切に頂き、今までの関係を保って行けるように心掛けている。

III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント（ 項目／4項目）について

一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方やこれまでの介護サービス利用の経過等を把握し、本人や家族からの意見や関わっているスタッフの話合いをふまえた上で介護計画を作成している。その計画に沿って個別ケアの実施や本人のそれざれの思いを大切にしている。しかし入居者様の変化が生じた時点で新たな介護計画がなかなかすぐに作成できていないこともある。

IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援（ 項目／7項目）について

個々それぞれの毎日の生活のペースに合わせ、出来ることはできるだけ自分で頂き、出来ないことは介助に入らせて頂くよう支援している。安全な生活を入居者様に送って頂く為、日頃から安全確保に努め、急変や事故に備えたマニュアル作成や火災時の避難訓練なども定期的に行なっている。また訪問時等家族様と出来るだけ話す機会を設け、現状で起こりうるリスクの説明を行い、本人様・家族様の要望や希望に沿った形で出来る範囲の対応を考慮・実施している。
入居者様にとって安心し居心地の良い環境を作り心掛け、自然に配慮した取り組みを行なっている。

職員は出来るだけ家族様や入居者様の思いや、その時々状況に応じた柔軟な支援を行なっていることで安心して日々の生活を送っている。もう少しゆったりと職員と入居者様が関わりケアを行なえるよう、業務体制の見直しを行っている。
地域の方々との関わりを今後も大切にし、外部との交流を深めて行くことにより、事業所の理解やボランティア活動への支援を行なって行きたい。

★サービスの質の向上に向けて、取り組む課題と優先順位、具体的な行動の計画

評価年月日： 年 月 日

前回評価年月日： 年 月 日

サービスの質の向上に向け取り組む課題			取り組み期間 (○年○月～ ○年○月まで)	改善に向けた具体的な行動	達成度評価	次期 評価 実施 時期
評価項目 番号	優先 順位	内 容				
I-2 5		同じ地域の一員として地域活動や行事にできるだけ参加し、地元の方々と交流を深め良い関係を作り上げて行く。	20年8月～	地域でおこなわれている行事に参加し、入居者の方々と関わりをもって頂ける機会をつくって行く。		
I-4 15		家族会を設け、家族同士の集まりの場で意見や苦情など思っていることなどが言いやすくなる環境の場をつくる。	21年～	家族様に家族会についての意義を理解して頂くよう案内を作成し、日時や家族会の内容などを考えていく。		
II-2 27		入居者様と関わり同じ目線の気持ちになって回りを見て、一緒に物事をとらえ感じていく。	20年8月～	入居者様と職員がゆっくりと関わりをもっていけるよう業務体制の見直しを行なう。		
II-2 31		認知度の度合いや気の合う合わないを配慮したうえで、移動やユニット分けをし個別ケアを重点として行なっている。	20年8月～	入居者様の情報収集を事前にしておき、各ユニット一人ひとりに応じたケアを考え提供して行く。		
III-2 37		入居者様の変化が応じた場合、新たな介護計画の作成を行う。	20年8月～	入居者様の変化を把握し、他の職員や家族等で話し合いそれぞれの意見を反映した介護計画を作成する。		
IV-1 (4)66		入居者の安全確保を第一とし、むおえない時以外はできるだけ鍵をかけない姿勢でいる。	20年8月～	入居者様の状況により、鍵をかけざるを得ないこともあるが、他の対応方法なども検討し鍵をかけていても他に自由に動けるスペースなどを増やして行く。		
IV-2 (2)86		自立した生活を少しでも保てて行けるよう支援する。	20年8月～	身体的悪化や認知症進行により入居者様、一人ひとり出来ることと出来ないことの把握を行い、出来ない部分は介助にはいり出来ることは自分でして頂くように支援する。		